



# なにしょんな

## ふるさと会よりご報告

会長（高松市観光大使）



池田 克彦

毎年、我が家屋上に鯉のぼりを上げていましたが、年齢も重ねた事と孫が大学入学した事から取りやめました。早くも初夏の兆しです。会報は38号を数えました。さて早速ですが、県市等の広報やホームページから地元の動きとふるさと会活動をご報告します。

1. 香川県今年度一般会計当初予算が発表されました。総額 4671 億円（前年度+1,2%）

災害に強い香川づくりと人口減少問題克服・地域活力向上を目指す予算として、基本方針に、

①信頼・安心のかがわでは、待機児童解消促進、健康長寿香川づくり、若手医師県内定着促進等で安心な地域医療体制づくり、介護人材確保事業で高齢者・障害者も安心に暮らせる香川づくり、交通死亡事故抑止総合対策があります。

②成長するかがわでは、企業の海外展開支援等で産業競争力強化・人材確保、滞在型観光推進事業、ラクビーオリンピック誘客促進事業、受入環境整備などインバウンド対策の強化。オーリーブ産業強化プロジェクト等の農畜水産業の競争強化。新県立体育館整備、空港連絡道路整備、さぬき浜街道整備があります。

③笑顔で暮らせるかがわでは、外国語教育充実事業等の将来を担う子どもたちの育成、再生可能エネルギー導入促進事業、新たな森林管理システム推進事業、瀬戸内国際芸術祭 2019、羽ばたけトップアスリート育成事業、オリンピック関連受入準備事業などを上げています。

災害に強い香川づくりと人口減少問題克服・地域活力向上を目指す重点的な取組みでは、

○災害に強い香川づくり（ハード・ソフト対策）では、2020 年運用総合防災情報システム構築、大規模氾濫等減災対策、地震・津波対策海岸堤防等整備、ため池防災対策等。

○若者の県内定着の促進では、東京圏UJ I ターン就職等推進、起業等スタートアップ支援事業等。

○A I 等先端技術利活用促進では、かがわ Society5.0（超スマート社会）推進等。

○外国人材の受入促進・共生社会促進があります。県議会選挙が実施されました。

2. 高松市議会 12 月定例議会で塩江出身佐藤市会議員が、塩江温泉郷活性化向け、軌道系交通を含めた、アクセス環境整備の考えを一般質問。採算性も考慮しながら今後、デマンド型の交通手段も含め、温泉郷のさまざまな地域資源を有機的に連携させ、観光客の周遊や滞在を促すよう幅広く検討するとして市答弁。他、上西地区の温浴施設、塩江付属医療施設の質問があった。令和元年初予算が発表されました。一般会計当初予算 1539 億円（前年度比+0,4%）重点取組み 6 項目。

①健やかにいきいきと暮らせるまちでは、公立保育所・幼稚園等施設整備、放課後児童クラブ事業等。

②心豊かで未来を築く人を育むまちでは、給食センター整備、高松一高校舎等改築事業等。

③産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまちでは、屋島活性化推進事業、新病院整備事業・温泉をいかした塩江地域の観光振興事業、卸売市場整備事業等。

④安全で安心して暮らし続けられるまちでは、住宅建築耐震改修事業等。

⑤瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまちでは、地域公共交通機関再編事業等。

⑥市民と行政がともに力を発揮できるまちでは、コミュニティセンター整備事業等があります。4 月高松市市長選大西氏無投票当選。塩江町選出佐藤よしくに氏市議会議員選挙当選（4 期目）塩江美術館がリニューアルしました。

3. 会活動として、11 月都内銀座で高松市観光大使研修会参加、都内プリンスホテルで第 100 回香川県人会参加（配布資料ふるさと会広告）塩江・上西現代サーカス滞在制作施設 Shiono-AIR へ協賛金（寄付金 50 万円）提供（市長要請もあり）。12 月都内池袋で別海ふるさと会と忘年会。1 月瀬戸内サーカスファクトリー代表田中さんと町興し協力隊村山さんと都内四谷主婦会館で座談会。都内池袋で役員新年会。2 月高松市（長井参与・観光交流課観光エリア振興室・地域振興課）高松観光コンベンションビューロー（理事長・専務理事）表敬挨拶訪問。3 月都内四谷主婦会館で役員会（30 年度事業報告と 31 年度事業計画）塩江町谷岡食堂で藤澤温泉観光協会会長及び町興し協力隊村山さん相倉さんとふるさと会総会等うち合せ。塩江町ほたる祭り協賛金（寄付金 3 万円）提供。



## 特集 ふるさとの町興し



塩江町温泉観光協会会長

藤澤 英治

平成 29 年 3 月に策定された「塩江温泉郷観光活性化基本構想」に基づき、各種施策に取り組んでいます。ハ-



ド面では、まず、大規模修繕工事のため休業しておりました「行基の湯」が、昨年 11 月から再開しました。上西地区では、「奥の湯公園」において、新たな温浴施設を整備することで、現代サーカス滞在型制作施設 Shiono-AIR 上西小学校の活用や、周辺の空き家を改修した簡易宿泊施設を整備する計画も進めています。さらに、「道の駅しおのえ」エリアについては、新たな塩江地区の顔となる観光交流拠点として、再整備計画を進めており、駐車場の拡大を始め、医療、物販・飲食、温浴、観光情報発信等の機能の導入を検討しています。

また、ソフト面では、塩江温泉観光協会のホームページを、より魅力的なものへとリニューアルするための支援を行ったほか、今後、サイクリストの受入環境整備などにも取り組んでいきたいと考えています。塩江温泉郷には、民間の温泉・宿泊施設や飲食店のほか、豊かな自然や歴史的資源も多く、これらの既存の地域資源等と新たに整備を予定しております二つの拠点とをうまく連携させ、塩江地区全体の活性化につなげていく考えです。引き続き、関係者皆様方の御理解・御協力をお願い申し上げます。

また、ソフト面では、塩江温泉観光協会のホームページを、より魅力的なものへとリニューアルするための支援を行ったほか、今後、サイクリストの受入環境整備などにも取り組んでいきたいと考えています。

塩江温泉郷には、民間の温泉・宿泊施設や飲食店のほか、豊かな自然や歴史的資源も多く、これらの既存の地域資源等と新たに整備を予定しております二つの拠点とをうまく連携させ、塩江地区全体の活性化につなげていく考えです。引き続き、関係者皆様方の御理解・御協力をお願い申し上げます。

満開の桜



5 月鯉のぼり

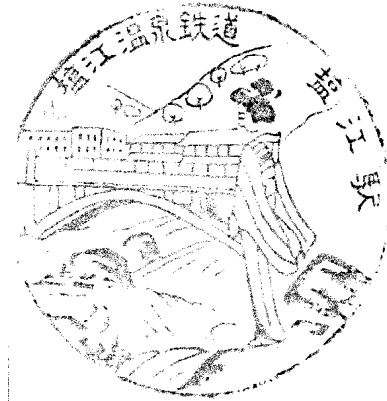
## ガソリンカー模型作成に関して



村山 淳

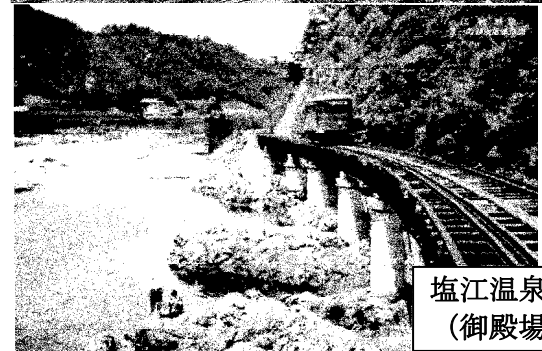
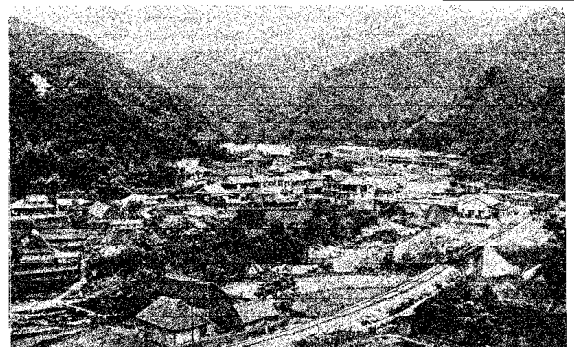
昨年 4 月から始まった「ガソリンカー復元実行委員会」では、塩江温泉郷の繁栄を支え、ガソリンカーの愛称で親しまれた「塩江温泉鉄道」の復元を行ってききました。復元といっても、実際に鉄道を走らせる

ことを目的とするのではなく、同鉄道を塩江町の歴史の特異点として、現存する資料と乗車体験者へのインタビューをもとに車両や当時の風景を復元する文化的な活動です。昨年度は香川高等専門学校や香川大学創造工学部造形メディアデザインコースの協力を得て、3D プリンターを利用した、20 分の 1 サイズ（約 40cm）の車体模型の復元、遺構散策マップ（日英両言語）発行、そして乗車体験者へのインタビュー映像の記録（約 10 時間分）を行いました。今年度は塩江美術館で 8 月 10 日から 9 月 23 日まで開催されるガソリンカー展「塩江温泉鉄道—風景と記憶—」に向けて、実寸大アートの作成などを行っていく予定です。ぜひ、注目をお願いいたします。



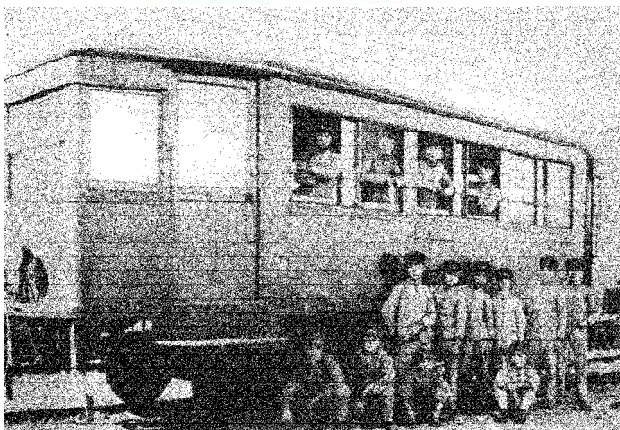
塩江駅のスタンプ

塩江駅絵はがき

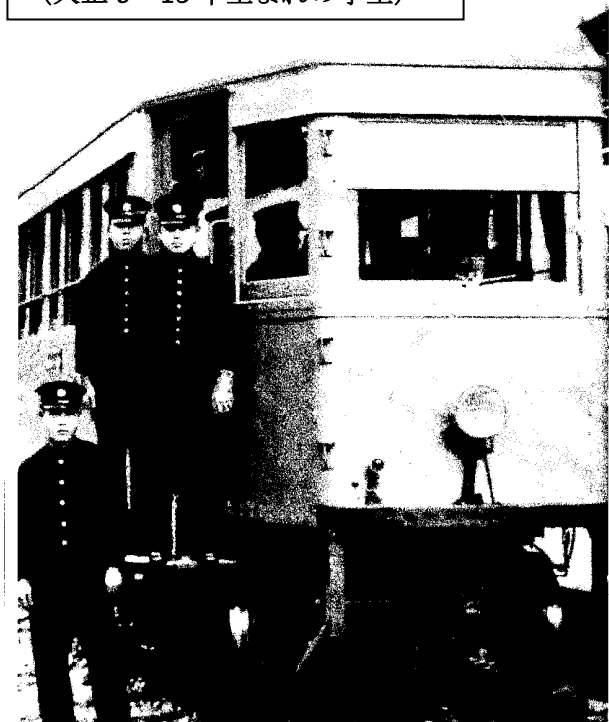


塩江温泉鉄道（御殿場～東地）

塩江温泉鉄道の資料



ガソリンカーと学生たち  
(大正9~15年生まれの学生)



塩江駅での運転手・車掌とガソリンカー

上西でのサーカス拠点

一般社団法人瀬戸内サーカスファクトリー

代表理事 田中 未知子



現代サーカスの文化を日本に花咲かせたいという思いで、香川に移住してきて、はや9年目。当時、イベント運営キャリアはすでに10年以上でしたが「人のために何かをする」ことをゼロから学び直したいと、最初の1年は割烹のフロアで働きました。一方で、片原町に「サーカス堂ふなんびゆる」という事務所を構えてお話し「千と一夜」を開催するなど現代サーカスを知ってもらい取り組みを行っていました。転機が訪れたのは2012年、ことでん仏生山工場で1日限りの創作サーカス公演を行い、大きな注目を集めたのです。そして2016年、日仏共同作品「YA!」の滞在制作を塩江の上西小跡施設で実施したのです。その後も折に触れ「にぎやかになるわ」と住民の皆さんが応援してくださることに、本当に感激しました。しかし、その間にも温泉施設や宿泊施設の閉鎖が相次ぎ、そのとき「サーカスは人を惹きつける力がある。住民の方が助けてくれるように、私もこの地域に何か役立てるかもしれない」と思ったのです。現代サーカスを通じた国内外の文化交流のハブ

として、外からの人々と町民による「相互助け合いの村」にしていきたい、と思っています。



上西の山なみ

農業始めました!



二川 裕一  
池田会長にお声がけを頂き、初めて投稿させていただきます。親父が亡くなり、長男でもあった為60歳で退職し香川県の実家に帰って参りました。

ちなみに、現在の日本の食料自給率は40%(カロリーベース)を切っており、計算

上は海外からの食料の供給が無ければ10人に6人は餓死することになります。

折も折、息子も脱サラして九州から地元へ帰ってくるのと、思い切って「食い物を作ろう!」と農業起業を決めました。

農家ではない為、農地は全て県農地機構から耕作放棄地を4町歩程お借りし、現在はネギとニンニクを栽培しており、今秋から黒にんにくの販売も予定しています。

近い将来、我が家のご飯は自前のお米で!、と思っています。

食い物があって元気であれば何とかかな。「食は国の安全保障だ!」

塩江の豊かな水



松尾 彩加  
美術作家の松尾彩加(まつお あやか)と申します。私は高松市木太町の出身で高松桜井高校を卒業した後、東京の多摩美術大学油画専攻に進学しました。現在も神奈川県にアトリエを構え、関東を中心に全国で油絵の作品を発表しています。

皆さんは油絵と聞くとどの様な絵を想像しますか?ダヴィンチの「モナリザ」でしょうか?ゴッホの「ひまわり」でしょうか?

油絵は「モナリザ」の様な滑らかな肌質の描写も「ひまわり」の様な絵の具の盛り上がったこったりした描写も油絵の具を扱う人の筆さばきによって様々な表現にすることが可能です。

私は透明感を重視して水の絵を描いています。現在は花に雨の雫が滴るシリーズで作品を発表しています。雨の一滴を宝石の様に美しく表現する事を目指しています。塩江を訪れたのは二十数年ぶりですが町を散策し、塩江の豊かな水に心を動かされました。美しい塩江の情景を作家の視点で絵に表現できたらと思っています。



相要峠



内場池

瀬戸内国際芸術祭のご案内

池田 克彦

香川県文化芸術局佐藤局長のご寄稿文から引用で芸術祭2019についてご案内します。

まず、瀬戸内国際芸術祭とは、アートを道しるべに島々を巡りながら瀬戸内の持つ美しい景観や自然、島の文化や生活に出会う、現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2019」が、直島や女木島など瀬戸内の12の島と高松港、宇野港周辺を会場に、春・夏・秋の各会期あわせて107日間の日程で、4月26日に開幕します。これまで3回の開催を重ねる中で、アーティストが島民と交流し、島の伝統・文化を感じ取り、その島でしか生み出すことのできない素晴らしいアート作品を創作し、それを大勢の来場者が島民やボランティアサポーターである「こえび隊」とふれあいながら巡り、島への理解を深め、島の素晴らしさを感じて貰うという独創性が、国内外から多くのファンを獲得してきました。最近では、米国のニューヨーク・タイムズや英国のナショナル・ジオグラフィック・トラベラーでは2019年に訪れるべき旅先として、日本で唯一、瀬戸内内に取り上げられ、瀬戸内国際芸術祭がその目的の一つとして紹介されるなど、世界の注目を集めています。みどころに瀬戸内の特産品や農水産物や島の食などにアーティストがテーマにした来場者に面白く体験・認知して貰える取り組みを展開する。としています。春(ふれあう春)4月26日~5月26日 夏(あつまる夏)7月19日~8月25日 秋(ひろがる秋)9月28日~11月4日 計107日間 直島・豊島・女木島・男木島・小豆島・大島・犬島・沙弥島(春)・本島(秋)・高見島(秋)・粟島(秋) 伊吹島(秋) 高松港周辺・宇野港周辺が会場です。



事務局よりお知らせ

① 年会費(2019年:令和元年)

@2,500 納入のお願い

○郵便局扱 口座記号 00150-2

口座番号 196649

加入者名(口座名)首都圏ふるさと会

○銀行扱 みずほ銀行橋本支店

普通口座 2091725

口座名高松・塩江ふるさと会

②第12回ふるさと会総会開催6月30日11時から

ホテルグランドヒル市谷(JR市谷駅徒歩5分)

都内新宿市谷本村町4-1ℓ03-3268-0111

③10月19日~21日松茸狩りと瀬戸芸の旅

塩江町訪問と船で粟島・高見島・息吹島訪問予定 後日ご案内致します。

④香川県埋蔵文化財センター西岡達哉氏の

「隠された大城郭・内場城跡」論文を同封致します。

⑤塩江新米申し込み受付開始します。チラシ別紙

⑥栴川ダムのゆるキャラデザイン制作寄付金募集

チラシ別紙。1口¥1,000

申し込みは塩江コミュニティセンターへ。

ℓ087-897-0137

編集後記

4月関東笑理会春の例会に出席しました(知事の講演と松平お殿様塩江町ご案内のお願い)6月ふるさと会総会と10月瀬戸内国際芸術祭の旅を予定しています。塩江の松茸収穫を今年こそはと思いましたがさて如何に。塩江はこれから賑やかになりそうですね。次号は今年秋を予定します。(編集人 小川奈々)